

令和2年度(2020年度)入学者選抜学力検査問題 社会 正答・正答例及び評価基準

※解答欄に語句が印刷されている問題では、同じ語句が重複して書かれていても正答とする。

※複数の小問をあわせて配点しているものは、すべて正しい場合のみ正答とする。

※「正答または正答例」の欄に(例)と示されている小問では、前後の文脈により正答例と同等の内容であると判断できる場合の誤字、脱字は減点しない。

問題番号		正答または正答例		配点		評価上の留意事項	
問	小問			小問	計		
1	(1)	①	ウ	3	33	(4)①は、「ア」も正答とする。 (4)③は、「相続」の語を使って、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。なお、指定語句に誤字が含まれていても減点しない。 (5)は、順序は問わない。 (7)②は、順序は問わない。 (7)③は、「主権在民」も正答とする。	
		②	ア				
	(2)	口分田	3				
	(3)	イ	3				
	(4)	①	㊦	3			
		②	徳政令	3			
		③	(例)相続によって小さくなっていった	3			
	(5)	イ, ウ	3				
	(6)	ウ	3				
	(7)	①	法律の範囲内	3			
②		ア, エ	3				
③		国民主権	3				
2	(1)	広島県	イ	2	34	I (3)①は、「出荷」の語を使って、5字以上10字以内で正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。なお、指定語句に誤字が含まれていても減点しない。 I (3)②は、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 I (4)は、地図2の両国の位置関係にふれ、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 I (5)②は、資料4, 5からそれぞれ読み取れることにふれ、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 II (1)は、「欧(州)」も正答とする。 II (3)② i は、記号に「ウ」が書かれ、理由に写真からわかる教会の背景と地形図の等高線から読み取れる地形を問わず、「等高線」の語を使って書いているものを正答とする。なお、指定語句に誤字が含まれていても減点しない。	
		愛媛県	エ				
	(2)	X	中国(山地)	2			
		Y	四国(山地)				
			雨温図	エ			2
	I (3)	①	(例)1年を通じて出荷(8字)	3			
		②	(例)他の時期に比べて高値で出荷することができるため	3			
	(4)	(例)アメリカは赤道より北側、チリは南側に位置し、両国の季節は逆であるから	3				
	(5)	①	ウ	2			
		②	(例)レモンは、みかんに比べて、同じ量を生産するためにかかる労働時間が少なく、高値で取り引きされるため	3			
	(1)	ヨーロッパ(州)	2				
	(2)	本初子午線	D	2			
		赤道	C	2			
II (3)	①	ア	2				
	②	記号	ウ	3			
		理由	(例)写真では教会の後ろに急な斜面があり、地形図で矢印の先に急な斜面を示すせまい間隔の等高線が読み取れるのは、ウであるから				
ii	イ(→)ア(→)ウ	3					
3	(1)	① 経済面	ウ	3	33	I (2)②は、「都市規模」の語を使って、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。なお、指定語句に誤字が含まれていても減点しない。 II (1)③は、順序は問わない。 III (1)は、「国連」も正答とする。 III (2)は、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 III (4)については、 ・次の(a)(b)(c)を満たしているものを正答とする。 (a)ア、イのいずれかの記号を選んで、書いている。 (b)(a)で選んだまちを指すうえで課題となることを、30字以上40字以内で書いている。 (c)(b)の課題の解決策となる、中学生と高齢者が、力を合わせて行う活動を考え、中学生と高齢者がどのように活動にかかわるのかわかるように、60字以上70字以内で書いている。 ・(a)と(b)のみを満たしているものは3点とする。	
		生活・文化面	キ				
	(2)	②	環境権	2			
	(1)	①	名古屋(圏)	2			
		②	(例)都市規模が大きいほど、65歳以上人口が増えていくことが予想されるから	3			
	II (1)	①	生存権	2			
		②	イ	2			
		③	ア, イ, エ	3			
	(2)	①	2010(年)	2			
		②	イ	2			
	(1)	国際連合	2				
	(2)	(例)生きがいを感じていると答えた人の割合	2				
	(3)	エ	2				
III (4)		(例) 手順1・・・ア 手順2 地域の道路の交通量が多くなり、登下校の際に十分な安全が確保できなくなる。 (38字) 手順3 中学生は、小学生と一緒に通学路を歩いて、危険な場所や安全な歩き方を教える。特に事故の多い場所には、高齢者が登下校時に立ち、安全を見守る。(68字)	6				
		手順1・・・イ 手順2 地域の子供が少なくなり、地域の伝統的な子供の行事が行われなくなっていること。(38字) 手順3 中学生は、地域の高齢者から、行われなくなっている行事の由来や方法を教わり、小学生や高校生と共に地域の人たちと行事を復活させる。(63字)					